

現代の先祖供養や永代供養について

昨今、我々の先祖供養の在り方は、時代の進化や変遷とともにめまぐるしく変化してきました。特にお墓の維持・在り方に関しては、樹木葬や散骨など、ひと昔では想像つかないほど様変わりしてきました。従来では、境内の墓地や私有の墓地、または共同の墓地や霊園に先祖墓を構え、亡きご先祖様をお祀りしてきましたが、現代では社会の多様化・核



巨福寺の永代供養塔「久遠廟」

家族化に伴い、代々維持・管理することが困難なご家庭も少なくありません。そんな中、そういった方々のニーズに応えるべく、寺院運営の永代供養（納骨堂など）や民間企業経営の永代供養などの受皿が多数できて、もはやそれが主流になりつつあるようにも感じられます。

当然、先祖あつての今の我々、何より大事に思いつつも、遠方であつたり後継がおられなかったり等、悩ましい中、やむを得ず墓閉まいをされる方も多々おられます。しかし、霊園等であれば墓を閉まえば返却すれば済むものを、私有の墓地であれば墓を閉まっても、その地が譲渡できなければ管理は免れない(近隣の迷惑になる場合)、今の住居の近場に墓を引っ越しても、また次世代になればその地が近場とは限らない、などさらに問題はあります。また否定するわけではありませんが、企業経営の永代供養に関して、当然企業は会社及び従業員の生活を守らなくてはならないので、その事業がやがて赤字に転じれば策を講じざるを得ないだろうと思います。無論、ご先祖様は供養させていただくものであって、処理に転じては断じてならないことです。それぞれのご家庭事情や環境、経済的なことやお考え、いろいろあるとは思いますが、最後の最後は菩提寺こそが安らげる安穩の場であることを願うばかりです。

賛否あるかもしれませんが、この度巨福寺ではテレビ電話を使ったりモート墓参の受付(詳細別紙)を始めましたので、なかなかお参りが叶わない方、よろしければご利用下さい。



7月24日 巨福寺最上稲荷・諸天善神 夏祭り

毎年恒例の巨福寺夏祭り・祈願祭が開催され、恒例のほうろく灸をはじめ、この度初めてキッチンカーにお越しいただき、極上フワフワのかき氷(みれい堂)と、ス



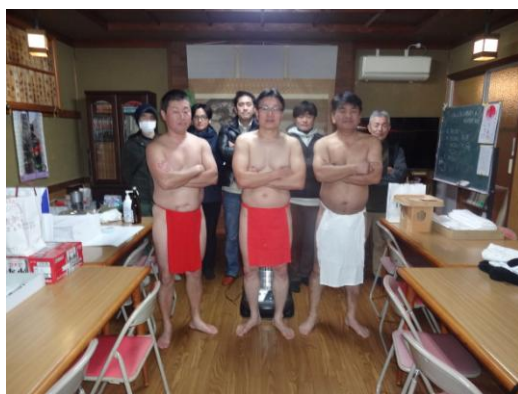
パイスの効いた美味しいカレー(カレーハウス itsuki)を振舞って頂き、またその他にもやきとりや肉巻おにぎり、ヨーヨーすくい等の催しなどもあり、猛暑の中でしたが、大勢の方で賑わいました。



巨福寺 恒例 歳末 水行会 開催

昨年末も恒例 27 日から大晦日 31 日まで、恒例の水神祭・水行会が行われ、極寒の中、檀信徒内外から大勢の丹精者が「水行」を体験され、その年 1 年の穢をされ、身も心もしっかり清められました。

またこの度も、昨年10月より新たに高梁市長にご就任されました石田芳生新市長も水を被られ、高梁市及び市政の安泰をご祈念されました。



その他の出来事

昨年5月18日、藤沢住職夫妻第3子となる女の子がめでたく誕生し、「莉央(りお)」ちゃんと命名されました。現在7か月、すくすくと元気に成長している模様です！



☆「巨福寺」「巨福寺ペット霊園」ホームページ 配信中☆

◎今後の行事予定 : 1月14日(火)14時～ お焚上げ 2月2日(日)14時～ 節分会・福引き抽選

2月15日(土)14時～ 釈尊涅槃会 3月17日～23日 春彼岸 4月29日(火)花まつり・総会